

平成 30 年度 第 2 回 中部森林管理局 国有林材供給調整検討委員会
(概 要)

1 開催日時

平成 30 年 10 月 16 日 (火) 12 時 50 分～ 13 時 30 分

2 開催場所

西垣林業株式会社豊田工場 会議室

3 検討内容

- (1) 国有林材供給調整対策について
- (2) 情報交換等
- (3) その他

4 検討結果

価格解析結果では一部の販売ブロックにおいて木材価格が「定常範囲を逸脱する動き」を確認したものの、各委員からの意見等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する「必要性はない」と判断する。

5 委員意見等

- ・ 自社製材工場の原木土場は 2 ～ 3 日も製材すれば在庫がなくなってしまうほど入荷が少なく、丸太が不足している。
- ・ 材が少なく例年の 8 割程度しか挽けない状況。
- ・ 東海圏では国産材を使ってもらえない。
- ・ 役物主体でやっているが、最近は丸太が悪くなってきた。その一因に、最近は大型の林業機械を導入して如何に効率良く伐採・搬出するかが重要視されており、木材を大事に扱っていないように思える。
- ・ 原木市場に行っても、丸太がないため自社所有の山林から伐出している。
- ・ 大雨や台風等の影響で愛知県や静岡県被害が大きく、自社土場も 3 日間の停電に見舞われた。被害のあった箇所ではインフラ整備のために生産業者が引っ張り出されており、地元の素材生産が出来ず供給量が減っている。
- ・ 自社の土場も材が少なく、また国有林も被害を受けたことから出材がない状況。山には材があるようだが、道路が寸断されているため搬出されるころには丸太の品質が低下していないか心配。
- ・ ヒノキの 3 m は挽いても売れないから 4 m の方が効率も上がるし良いといった製材業者もいる。世の中が変わりつつある。
- ・ 7 月に間伐した箇所が風倒木被害に遭っている。また作業道も崩落や路面が洗掘された箇所が多く修繕しないと搬出出来ない状況。